

4 財務状況等

(1) 財務状況概要

平成22年度は、現病院の経営改革を喫緊の課題として、平成21年秋に立ち上げた医療収入拡大の三つのアクションプラン「手術件数の拡大」「放射線検査の拡大」「病床稼働率の向上」を強力に推進し、成果を上げた年となった。

収支状況は、消費収支における帰属収支差額（帰属収入－消費収支）が2億円台の支出超過と大幅な改善となった。

主な要因としては、診療報酬改定、アクションプランの実施等により、医療収入全体で16億円程の増収となった。また、支出面においても、医療の直接経費である薬品材料費及び診療材料費が薬価・公定価の改定の効果と節減努力により、かなりの効率化を図ることができた。

(2) 資金収支の状況

◆ 資金収支計算書

① 収入の部

予算と比較して、18億円減少した。内訳としては、資産売却収入が19億円減である。

② 支出の部

予算と比較して、34億円減少した。内訳としては、医療経費支出が5億円減、設備関係支出が18億円減である。

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	差 異
収入の部	学生生徒等納付金収入	4,887,260,000	4,885,670,000	1,590,000
	手数料収入	189,839,000	193,682,400	△3,843,400
	寄付金収入	366,500,000	430,495,000	△63,995,000
	補助金収入	1,682,460,000	1,688,142,212	△5,682,212
	(国庫補助金収入)	(1,370,454,000)	(1,338,109,344)	(32,344,656)
	(地方公共団体補助金収入)	(312,006,000)	(350,032,868)	(△38,026,868)
	資産運用収入	235,232,000	293,618,522	△58,386,522
	資産売却収入	3,000,000,000	1,105,578,271	1,894,421,729
	事業収入	212,749,000	244,315,084	△31,566,084
	医療収入	24,514,710,000	24,633,476,872	△118,766,872
	雑収入	323,226,000	341,992,193	△18,766,193
	借入金等収入	3,400,000,000	3,150,000,000	250,000,000
	小 計	38,811,976,000	36,966,970,554	1,845,005,446
	前受金収入	1,032,524,000	1,043,535,305	△11,011,305
	その他収入	5,072,763,000	6,150,569,116	△1,077,806,116
	資金収入調整勘定	△5,669,963,000	△5,620,065,727	△49,897,273
前年度繰越支払資金	4,731,345,000	4,731,345,392		
収入の部合計	43,978,645,000	43,272,354,640	706,290,360	
支出の部	人件費支出	15,940,037,000	15,796,225,493	143,811,507
	教育研究経費支出	1,732,659,000	1,474,175,555	258,483,445
	医療経費支出	13,007,165,000	12,499,572,707	507,592,293
	管理経費支出	784,472,000	500,464,195	284,007,805
	借入金等利息支出	62,335,000	61,199,999	1,135,001
	借入金等返済支出	298,000,000	318,000,000	△20,000,000
	施設関係支出	993,357,000	612,115,600	381,241,400
	設備関係支出	2,597,755,000	832,818,011	1,764,936,989
	予備費	105,319,000		105,319,000
	小 計	35,521,099,000	32,094,571,560	3,426,527,440
	資産運用支出	3,298,000,000	3,394,000,000	△96,000,000
	その他支出	2,684,396,000	2,637,750,031	46,645,969
資金支出調整勘定	△2,235,703,000	△2,192,915,151	△42,787,849	
次年度繰越支払資金	4,710,853,000	7,338,948,200	△2,628,095,200	
支出の部合計	43,978,645,000	43,272,354,640	706,290,360	

有価証券売却収入が予算額の見込みを大幅に下回った。

医療収入が予算額の見込みを上回った。

薬品材料費が減少したため、予算を下回った。

教育研究用機器備品が減少したため、予算を下回った。